



商店街の事を理解してもらって、次のステップとして、パソコンの得意な方、韓国語の得

最初は、りんくの利用者が商店街と関わったら、まずいかなと思っただけです。商店街がどこまで関わっているのか、私自身もまだ理解していないところがあるんですが、商店街として、りんくと協力して支援をしていくという方向が必要だと思っています。

商店街としての支援

ある人なんだとか、こういう事が得意なんだとかが分かれば、逆にこちらから提案もできますよね。その辺が、次の課題かなと思っています。

分かり合える事が

りんくの利用者で、お手伝いをしてくれている人たちは、本当に真面目なんです。とにかくコツコツやってくれているんです。人との触れ合いが少し苦手というイメージはあるかも知れないです。でも、今まで手伝いをしてくれた人たちは、そんな事は全然なかったですね。皆さん和気あいあいとやってくれていますよ。

りんくの利用者で、お手伝いをしてくれている人たちは、本当に真面目なんです。とにかくコツコツやってくれているんです。人との触れ合いが少し苦手というイメージはあるかも知れないです。でも、今まで手伝いをしてくれた人たちは、そんな事は全然なかったですね。皆さん和気あいあいとやってくれていますよ。



意な方など、得意分野を生かすことのできる、そういう場を提供していくという事が大切ですね。社会にどんな参加するということにつながりますから。

りんくが商店街の中に開設して、利用者に商店をまず見てもらって関わることで、利用者がどんなことをしたいのかが分かれば、もっといろんな事ができると思っています。そして、1段、2段、3段とステップを踏むことで、やりたいという意識につながれば良いと思いますね。岩見沢のこういった取り組みが、全国的なモデルケースになれば嬉しいですね。

支援するというのは、全国的にも珍しい取り組みらしいですよ



りんくの役割

栄通り商店街にとって、岩見沢市生活サポートセンターりんくは、大きな存在です。りんくは、仕事が見つからない、

進化するりんく

地域ぐるみの就労支援で広がる人の輪



この写真は、まちなかをみんなで清掃する、地元商店街の環境美化活動ですが、栄通り商店街で十数年ぶりに再開されたボランティア活動なんです。十数年ぶりの再開となると、とても大きなことですよ

その十数年ぶりの再開のきっかけは何だったのでしょうか？栄通り商店街の方に聞いてみました



栄通り商店街振興組合 奥野 賢一 理事長

少しでも支援したい



りんくが栄通り商店街に開設して、商店街としては、りんくの利用者を少しでも支援したいという気持ちがありました。それにはまず、商店街の事業に関わってほしいなと思っ、まちの掃除をお手伝いしてもらおう事から始めました。商店街みんなで朝のごみ拾いをして、その後は、花でまちをきれいにしようかという事で、花壇一体型ガードレールへの植栽をしました。どちらでも、りんくの利用者にお手伝いしてもらっています。

清掃活動ですが、以前は百餅祭りの後に、掃除をするという事を商店

商店街の活性化にも

街でやっていないんです。それが、まちの中を常にきれいにしようという事で、商店街の普段の活動として取り入れたんです。清掃活動を通して、商店街とりんくの利用者のつながりは強くなっていきますね。もっと商店街に入り込んできてもらえれば、いろいろな面で橋渡しができるのかなと思います。

商店街の集客を高めて、楽しい商店街づくりをさせようと、北海道教育大学岩見沢校の学生が、商店街を活性化するための取り組みとして、いろいろな提案をしてきました。それが、栄通り商店街一面をたくさんキャンドルで照らす、キャンドルナイトというイベントにつながりました。このイベントも、りんくの利用者にお手伝いをしてもらっています。



就労準備支援プログラム

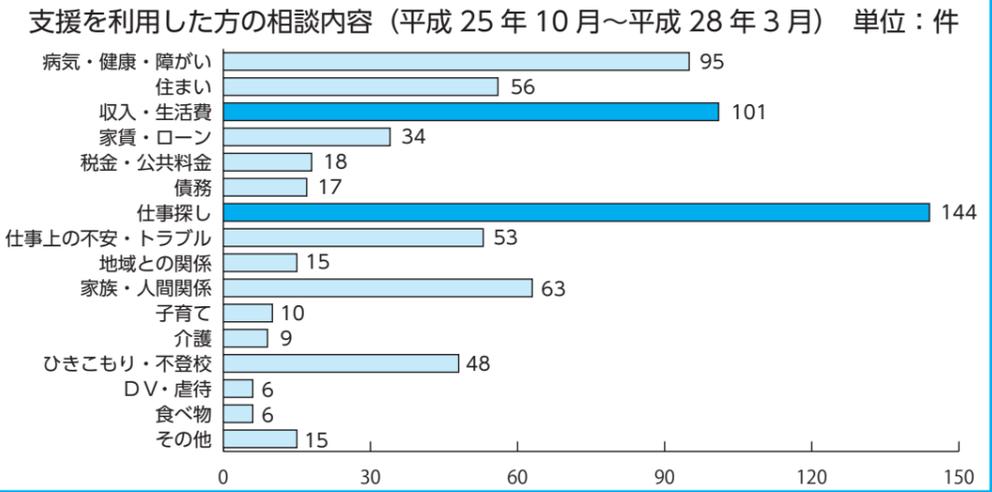
就職活動を直ちに開始できない方に対し、各種プログラムで支援します

ステップ1 生活自立支援訓練	たのしみ隊	レクリエーション活動を通して、生活習慣の改善や他者との関係づくりを学びます
	まなび隊	基礎学力に自信がなく不安を感じている方が、常用漢字、熟語、ことわざの意味、四則計算などを学びます
ステップ2 社会自立支援訓練	たいけん隊	地域イベントのボランティアやプロジェクト活動に参加して、就労に必要なとされる自信、経験および能力を身につけます
	しごと見学隊	実際に働いている方を見学し、就労意欲を高めます
ステップ3 就労自立支援訓練	はたらき隊	就職にあたっての心構え、応募書類・履歴書の書き方、模擬面接など、本格的な就職活動に向け必要な知識・技能を学びます
	パソコン隊	どこの職場でも使用されているパソコンの技能を高めます

家族の事で困っている、社会に出るのが怖いなど、生活や仕事に関する悩みを抱えている方の、大きなチカラになる相談窓口です。今回のボランティア活動は、「たいけん隊」という就労準備支援プログラムの一つで、ひきこもりだった

方や長期離職中の方など、すぐに就職活動を開始できない人が、段階的に訓練し、就労を目指します。主に環境美化活動や、ふるさと百餅祭りなどのボランティア活動で、就労に必要なとされる「自信」と「経験」を養っています。





- 採用になったけど、働いてみたら思っていたのと違うなあ…
- よくあるこのような事を防ぐために、面接前に職場体験を実施します
- 一人で面接に行くのは不安だなあ…
- 面接での不安を無くすために、本人と企業の了解の元、りんく支援員が面接に同席し、お手伝いします
- 働き先が決まったけど、その後のケアもしてほしいなあ…
- 就労後の不安を無くすために、就労した企業へ定期的に訪問したり、雇用主、就労者、りんく支援員の三者面談で、不安を聴いたりします

りんくは、さまざまな問題を抱えた方の相談窓口です。進化するりんく。でも、りんくの取り組みの効果が上がるのは、さまざまな悩みを抱えて困っている方やその家族、周りの方からの相談を受けからず。

地域の皆さんや専門家など、みんなで協力しながらサポートします。ひとりでの悩み事を抱えこまずに、まずはご相談ください。

このような取り組みで、職場環境改善のお手伝いをする事により、長期就労が出来るように企業と求職者の双方をサポートします。

りんくの進化

りんくは、相談者の状況に合わせた支援プランを作成し、決に向けた支援を行っています。相談内容は、こういったものが多いのでしょうか？

相談内容で多かった「仕事探し」「収入・生活費」の支援を充実させるため、りんくも進化しています。

無料職業紹介所の資格を取得

この資格を取得することで、相談から就労までの一連の支援策を強化しました。りんくの無料職業紹介所には、次のような特徴があります。



りんく利用者の作品

自分のスケッチが広報いわみざわの表紙を飾ったという「自信」、そして、編集に携わったという「経験」、この財産を今後の活動に生かしてもらえたら嬉しいです

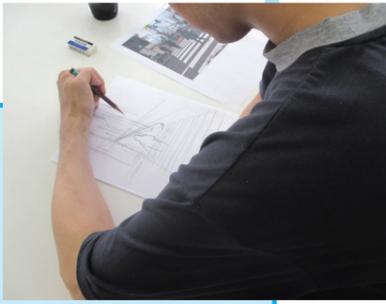


岩見沢市生活サポートセンター りんく

体験から得るもの

たいけん隊の訓練には、職場体験など、さまざまなものがあります。今月号の表紙、いつもの広報いわみざわと違うなと思います。読んでみたか？

表紙と左記のスケッチは、就労体験の一環として、りんくの利用者が描いたものです。広報いわみざわの編集に携わったこと、感想を聞いてみました。



りんくに初めて来たのは、今から2年くらい前でした。りんくに来たことで、人とのつながりの重要性を再認識し、仕事をする上での心構えを養うことができました。

たのしみ隊やたいけん隊などのプログラムに参加しながら、仕事に向けての準備をしてきました。デザインの仕事に興味があり、今回、広報いわみざわの表紙やプログラムの様子などの絵をかかせていただきました。これをステップに、次の仕事の足掛かりになればと思います。

つながりと輪

栄通り商店街のボランティア活動の再開など、りんくの活動は、まちの活性化につながっています。りんくの利用者も、地元商店街との活動や各種イベントのボランティア、就労体験などで、自信・経験を養うという事につながっています。

つながり（リンク）を作り、輪（リンク）になって支援するという、岩見沢市生活サポートセンターりんくの名前の由来。つながりと輪、どちらのリンクも大きくなり、進化しています。



まなび隊の様子



町会・自治会、民生委員、社会福祉協議会、医療機関、市役所など

岩見沢市生活サポートセンター りんく

所在地
〒068-0023 岩見沢市3条西3丁目2番地1
☎ 25局 5200
メール linksoudan@iwa-link.net

開所日時
月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前9時～午後5時30分
※祝日を除く火曜日と金曜日は、午後8時まで夜間電話相談を受け付けています。



たいけん隊の様子



はたらき隊の様子